

鐵道抵當法案特別委員會議事速記錄第一號

委員氏名

委員長

子爵曾我 祐準君

副委員長

子爵堀田 正養君

委員

子爵大宮 以季君

子爵鳥居 忠文君

子爵三島彌太郎君

男爵前島 密君

男爵小澤 武雄君

村田 保君

男爵平田 東助君

男爵川口 武定君

古市 公威君

藤田 四郎君

都筑 馨六君

高木 豐三君

小幡篤次郎君

明治三十八年二月二日(木曜日)午前十時四十五分開會

○委員長(子爵曾我祐準君) 唯今カラ會ヲ開キマス、一應皆サンニ御相談イタシマスガ、本案ノ大體ニ付テ政府委員ノ説明ヲ初メニ請ヒマシテハ如何デゴザイマセウ

(ドウカサウ願ヒマス)ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐準君) ソレデハ御説明ヲ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 本案ノ大體ニ付キマシテ原案ノ趣旨ヲ一應申上ゲマス、其ノ上尙御問ニ依リマシテ御答ヲ申上ゲルコトニ致シマス、過日本議場ニ於キマシテ遞信大臣ヨリ述ベラレマシタ如ク、鐵道抵當ノコトハ既ニ現行ノ私設鐵道法中ニ規定イタシテ居リマス、併シ現行法ノ規定ガ備テ居リマセヌ爲ニ鐵道抵當ト云フコトヲ許シテハ居リマス、其鐵道ノ相當ノ價ダケニ之ヲ擔保トシテ負債ヲ起スコトガ出來ナイノデゴザイマス、ソレデ申上ゲルマデモナク鐵道ト云フモノハ種々ナル有體ノ設備カラ成立テ居リマシテ、動産アリ不動産アリ、土地アリ建物アリ、種々雜多ノ物カラ成立テ居リマシテ、是等ノ有體ノ設備ガ相須テ鐵道ノ用ヲ爲シ、又鐵道營業ヲ行フテ往クコトガ出來ルノデゴザイマス、デ此鐵道ノ價ダケニ抵當ノ用ニ供シマスルニハ、是等ノ有體ノ財產ヲ一括シテ抵當ニスル方法ガ備ハラヌデハ其目的ヲ達スルコトガ出來マセヌノデゴザイマス、然ルニ現行法ニハ其規定其方法ガ備テ居リマセヌ爲ニ、鐵道抵當ト云フコトハ許シテ居リマスガ、其目的ヲ達スルコトガ出來マセヌ、即チ其手續方法ヲ定メルノガ本案ノ大體ノ目的デゴザイマス、此目的ヲ達スルニ付キマシテ鐵道ノ營業ニ必要ナル有體ノ設備ハ少クモ之ヲ一括シテ一團トスルコト云フコトガ必要ナルノデゴザイマス、其目的ノ爲ニ鐵道財團ヲ設ケマシテ本案第三條ニ列記シテアル所ノモノハ之ヲ其財團ニ入レテ、ソレヲ一括シテ一個ノモノト看做シテ抵當權ノ目的ノ爲ニ設定スルコトヲ許シマシタノデゴザイマス、デ此財團ハ本法ノ趣意デハ抵當權ノ目的ノ爲ニ設ケルコトヲ許シマシタノデゴザイマス、或ハ鐵道ニ屬スルモノヲ別々ニ一ツノ財團ニスルコト云フモノ一ツノ方法カ存ジマセヌガ、餘リ必要ナキニ徒ラ煩雜ナル手數ヲ要スルコトナリマスカラ、此法ニ於テハ鐵道擔當ノ目的ノ爲ニ許シマシタ財團ハ抵當權ノ消滅ト共ニ消滅スルコト云フコトニ致シマシタ、ソレデ此財團ハ一個ノモノト看做シマスカラ所有權ノ移轉ト云フコトハ素ヨリ認メマスノデゴザイマス、大體財團ノ目的ト云フモノハ抵當權ノ設定ニアルノデゴザイマス、

デ斯ウ云フ風ニ抵當權ノ目的ヲ財團ヲ設ケマシタ以上ハ其中ニ屬シマスル個々ノ權利ハ此財團存在ノ爲ニ其權利執行ノ爲ニハ、財團ガ個々別々ニ別レヤウナコトノ無イヤウニシナケレバナリマセヌ、即チ其目的ヲ達スル爲ニハ財團ニ屬スル所ノモノハ個々別別トシテ物權ノ目的ニナラヌヤウニ致サナケレバナリマセヌ、本案ハ其規定モ設ケテアルノデゴザイマス、右述ベマス如ク財團ヲ一括シテ設ケマシテ其財團中ノモノニ對シテモ個々別々ノ物權ヲ有シマセヌ以上ハ財團ヲ設定シマス際ニ於キマシテ其財團ニ屬スベキモノニ對シテ、個々別々ノ權利ガ現ニ存在シテ居ラヌコトヲ確カメナリマセヌ、又一旦財團ニ屬シマシタ以上ハ、ソレガ個々別々ノモノトシテ他ノ權利ノ目的ニナラナイト云フ保障ヲシナケレバナラヌ、其保障ヲ致シ且ツ財團ニ屬シマス所ノ不動産ノ登記ト財團ノ全體ノ登録トノ聯絡ヲ保ツガ爲ニ手續上ノ規定ガ必要アリマス、其規定ハ本法ノ第一章ニ定メテ置キマシタ、デ此規定ハ詰リ一方ニ於キマシテハ鐵道抵當權ノ確實ナルコトヲ保障スルコト同時ニ又一方ニ於キマシテハ鐵道會社ニ對シマシテ他ノ債權ヲ持ッテ居リマスモノモ亦之ガ爲ニ迷惑ヲ受ケナイコトモ計ラナケレバナラヌノデゴザイマス、其目的ヲ達シマス爲ニハ前申上ゲマス通り不動産ニ付キマシテハ、不動産ノ登記ト鐵道財團ノ登録トノ聯絡ヲ保チ、個々別々ノモノニ對スル權利トノ調和ヲ計リマス、モウ一ツハ鐵道財團ノ範圍ヲ定メルニ付テモ鐵道會社ノ財產ヲ舉ゲテ鐵道財團ニハ致シマセヌノデゴザイマス、即チ茲ニ舉ゲマシタノハ鐵道營業ニ必要ナル所ノ有體ノ設備ヲ一括シテ財團ト致ス主意ヲ以テマシテ、債券デアルトカ、其他有價證券トカ、現金トカ、ソレ等ノ物ハ除キマシテ、唯鐵道ニ必要ナル設備ダケヲ茲ニ舉ゲマシタノデゴザイマス、是ダケノモノニ對シテハ鐵道抵當權者ハ此權利ヲ行フコトガ出來ルノデ、他ノ權利ヲ持ッテ居リマス所ノ鐵道抵當權者ガ其權利ヲ行フタ後デナケレバ其權利ヲ行フコトガ出來ナイト云フコトニ致シマシタ、ソコデ前申上ゲマス通り個々ノ物ニ對シマス所ノ權利ト鐵道財團ニ對シマス權利トノ調和ヲ計リ、土地建物ノ登記ト鐵道財團ノ登録トノ調和ヲ計リマシタ方法ヲ一言シマスレバ此第七條ニ定メテアリマス豫定登記ト云フ方法ニ依テ其目的ヲ達スル考デアリマス、其前ニチヨット申上ゲテ置キマセバナラヌハ、鐵道財團ハ一括シテ一ノ物ニナリマスガ、此登録ハ普通ノ物トハ異ニシテ別ニ登録ノ手續ヲ定メテ主務官廳ノ職權ニ屬セシムルコトニ致シマシタ、是ハ一ハ鐵道ノ事ニ付キマシテ事實ヲ詳ニシテ居リマスノハ主務官廳デアリマス、一面ニ於テハ監督權ヲ持ッテ居リマスカラ登録ノ上ニモ便利デアリ、監督ノ上ニモ便宜デアリマスカラ、普通ノ土地建物ノ登記ノ如ク登記所ニ扱ハシメズ、主務官廳ニ掌ラセルコトニ致シマシタ、主務官廳ニ於テ掌ル所ノ鐵道財團ノ登録ト土地建物ノ聯絡ヲ保タネバナラヌ必要ガ生ジマシタ、ソレデ此鐵道財團ヲ設定イタシマスノハ無論今日モ私設鐵道條例ニ依ッテモ鐵道ヲ抵當トシテ負債ヲ起シマスニハ主務官廳ノ可認ヲ受ケナケレバナラヌデアリマス、此法モ矢張り同ジ手續ニヤルデアリマス、併シ主務官廳ノ認可ヲ申請シテ參リマシタ時分ニハ、主務官廳ニ於テハ財團ニ屬シマス個々ノモノニ付テ各種ノ權利ガ附イテ居ラヌト云フコトヲ確カメバナラヌ、又現在申

請ノ際ニハ各種ノ權利が存在シテ居ラヌモ、申請中、財團ノ設定ノ認可ノアリマス間ニ於テ色々ノ權利ガ此上ニ附イテ參ルコトガ無イトハ申サレマセヌ、或ハ其間ニ財產ノ差押ヲ受ケルトカ、假處分ヲ受ケルト云フヤウナコトガ無イトモ限リマセヌ、主務官廳ハ左様ナ事ガ無イト云フコトヲ確カメルコト、又申請中ニ左様ナ事實ガ生ジナイコトヲ確カメル爲ニ豫定登記ノ法ヲ設ケマシタ、即チ財團ノ設定スル時ニハ先ヅ以テ不動産ニ付キマシテハ登記所ニ豫定登記ヲ申請シテ其登記ヲ受ケナケレバナラヌ、豫定登記ヲ致シマスト其後ニ於キマシテハ色々ノ權利ニ付テノ登記ハ必竟條件附ノ登記ニナリマシテ、若シ其財團ノ設定ガ主務官廳ニ於テ認可サレマシタ曉ニハ豫定登記以後ニ爲シタ他ノ登記ハ效力ヲ失フコトニナリマス、又鐵道會社ガ他ノ權利ノ事ニ付テ、例ヘバ差押ヲ免ル、爲ニ豫定登記ヲスルト云フヤウナ眞ガアルトシマスレバ、万アリマスマイガ万一アリトスレバサウ云フノハ此豫定登記ノ方法ニ依テ防グコトガ出來ル、即チ其場合ニハ財團ノ設定ガ無イトデアリマスカラシテ、豫定登記ハ直チニ效力ヲ失フコトニナル、效力ヲ失フコト云フコトニナリマスレバ、登記所ニ於テ登記ヲシテ居リマス總テノ權利ハ效力ヲ持ツコトニナリマス、此方法ニ依リマシテ此權利ト鐵道財團ニ對スル權利トノ調和ヲ計リ且ツ不動産登記ト鐵道財團ノ登録トノ聯絡ヲ保ツ考デアリマス、デ此鐵道財團ガ既ニ設定セラレマス以上ハ抵當權者ハ又其鐵道財團ガ勝手ニ處分サレマシテ其爲ニ自分ガ迷惑ヲ受ケルヤウナコトノ無イヤウニシナケレバナリマセヌ、其點ニ付キマシテハ抵當權者ニ對シテモ幾分ノ保障ヲ與ヘネバナラヌデアリマス、ソレデカラ鐵道財團全體ニ對シテ或ル重要ノ處分ヲ致シマス、或ハ線路ヲ變更スルトカ、或ハ營業ヲ休止スルトカ云フ場合ニ於キマシテハ、抵當權者ニ對シテ異議ガアレバ一定ノ期間ニ申出ルト云フコトヲ催告シテ異議ヲ申立ツル途ヲ開キマシタ、又財團ニ屬シマス個々ノモノノ處分ニ付キマシテモ、之ヲ一々異議ヲ申立ルト云フ譯ニハナリマセヌガ、事ノ輕重ヲ見マシテ其處分ガ鐵道財團ノ價格ニ著シイ減少ヲ生ズルト云フヤウナ眞ガアル時ハ主務官廳ハ矢張り異議ガアレバ申出セト云フ、催告ヲ爲セト云フコトヲ會社ニ命ズルトニナシマシタ、ケレドモ抵當權者ニ於キマシテ唯自己ノ不條理ナ異議ノミヲ主張シテ、ソレガ爲ニ必要ナル線路ノ變更トカ其他必要ナル改良ガ出來ナイト云フコトガアツテモナリマセヌカラ、終局ノ裁定ハ主務官廳ニ委任シマシテ、主務官廳ガ其異議ニ正當ナ理由ガ無イト見レバ線路ノ變更トカ其他ノ事ヲ許シマセヌ、抵當權者ニ幾分ノ權利ヲ與ヘマシタケレドモ之ガ爲ニ公益ニ害ガアルト云フコトハ無イ積リデアリマス、財團ガ一旦決定セラレマシタ後ニ幾ラカ財團ガ擴張セラレ或ハ其他變更セラレルト云フ場合ガ往々アルデアラウト思ヒマス、其場合ニハ新ニ不動産ガ之ニ加ハリマスレバ矢張り前ノ通りニ準ジテ豫定登記ノ手續ヲ經テスルデアリマス、又不動産以外ノ動産ニ付キマシテハ登記ノ手續ニ依ルトコトガ出來マセヌカラ之ニ付テハ別ニ規定ヲ設ケテゴザイマス、即チ是ハ權利ノアル者ニ申出ルトコトヲ催告シマシテ、ソレニ依テ財團ニ屬スルモノノ種々ノ權利ガ付イテ居ラヌト云フコトヲ確メル方法ヲ取リマシタ、是ハ已ムヲ得ナイ便法デゴザイマシテ、固ヨリ登記ノ上ニ於テノ如キ完全ナ方法デハゴザイマセヌガ、他ニ方法ガゴザイマセヌ爲ニ已ムヲ得ズ斯ウ云フコトニ致シマシタデアリマス、登記ノコトニ付テハ手續ニ屬スルコトデアリマスカラ、大體ニ付テ申上ゲルコトハ要ラヌト思ヒマス、ソレカラ抵當權ヲ設定シマシタ後ニ至リマシテ、固ヨリ會社

ハ債務ヲ履行スル場合ガ多イデアリマセウケレドモ、万一其債務ヲ履行シナイトキニ於キマシテハ、抵當權者ハ其權利ヲ強制シテ執行スルコトガ出來ナケレバナラヌデアリマシテ、ソレガ爲ニ第二章ニ強制執行ノ規定ガアリマシテ、ソレハ強制競賣ト強制管理ノ二ツノ方法ニ依テ爲スコトニナリマシタ、唯強制競賣ノ手續ニ至リマシテ鐵道財團ノ如キハ普通ノ不動産トハ比較ニナラヌ程ノ大ナルモノデアリマスカラシマシテ、之ニ付キマシテハ別段ノ規定ヲ此所ニ設ケタデアリマス、是モ大體入札法ニ依ルト云フコトニ致シマシテ、ソレガ爲ニ此民事訴訟法ニ定メテアリマス所ノ競賣ノ手續トハ幾ラカ異ナツタ所ガ出テ參リマシタ、併ナガラ是等ノ手續ニ付テハ別段唯今申上ゲル必要モゴザイマセヌガ、唯大體競賣ニ加ハルベキ者ノ資格ヲ定メタト云フコトニ付テ一言申上ゲテ置ク必要ガアルト考ヘマス、詰リ此競賣ハ固ヨリ競賣人ガ引續イテ鐵道營業ヲ營ンデ行クト云フガ目的デゴザイマスカラ、競賣ニ加ハリマスル者モ引續イテ鐵道營業ヲ營ミ得ル者デアルコトヲ要シマスルノデ、現在鐵道營業ヲ營ンデ居リマスル者ナラバ直チニ此競賣ニ加ハルコトヲ得マス、併シ現在ノ會社以外ニ將來、會社ヲ發起シテ鐵道營業ニ從事シヤウト云フ者ガアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、株式會社ヲ發起スルニ必要ナダケノ數ガ合同シナケレバイケヌ、サウシテ鐵道營業ヲ目的トスル會社ヲ組織スル意思ヲ持ッテ居ル者デナケレバナラヌト云フコトニ致シマシタ、是ハ御承知ノ如ク私設鐵道法ガ株式會社ニ限ッテ營業ヲ許スコトニナリマシタ居ルデアリマスカラ、其鐵道法ノ主義ヲ此法案ニ依ッテ變更ヲ加ヘナイヤウニト云フ考ヲ以チマシテ現行ノ私設鐵道法ト聯絡ヲ保チマス爲ニ斯ノ如キ規定ヲ設ケタデアリマス、即チ私設鐵道會社以外ノ者ハ假令競賣シマシテモ直チニ其者ガ權利ヲ得ルコトハ出來ナイ、鐵道會社ガ成立ッテ本免許ヲ受ケマシテ、ソコデ始メテ鐵道財團ノ所有權ヲ得ルコトガ出來ルデアリマス、私設會社ニ致シマシテモ、又新ニ會社ヲ發起スルモノニ致シマシテモ兎ニ角本免許ヲ得ナケレバナラヌト云フコトハ、私設鐵道法ノ定メタル所デアリマスカラ、其點ヲ變ヘナイ考デ、本免許ヲ得タ後、競賣代金ヲ拂ヒマシテ始メテ權利ガ移轉スル、若シ代金ヲ拂ハナケレバ競賣ノ決定ヲ取消サレマス、又本免許モ效力ヲ失フコトヲ規定ヲ設ケマシタ、ソレデ一回ノ競賣目的ガ達セラレナケレバ再度ノ競賣ニ付スル、再度ノ競賣デ效力ヲ奏シマセヌトキハ已ムヲ得マセヌカラ、詰リ鐵道財團ヲ組成シテ居ルモノヲ財團ヲ離レテ競賣ニ付スルヨリ外ハ無イ、斯ウ云フコトハ萬アリマスマイケレドモ、最後ノ手段トシテ規定シタデアリマス、ソレカラ強制執行ハ唯今申上ゲマシタ競賣ト強制管理ト二ツノ方法ニ依ッテ爲シマス、此強制管理ニ付キマシテハ、矢張り普通ノ民事訴訟法ニ規定シテ居リマスル強制執行ノ一ノ方法デアリマスケレドモ、本案ニ定メテ居リマスノハ、ソレト稍異ッテ居リマスル點ハ、此鐵道ノ管理ト云フモノハ、同時ニ鐵道營業ヲ行テ往クト云フコトヲ包含シテ居リマス、鐵道營業ニ付テハ申上マデモナク始終主務官廳ノ監督ヲ受ケテ居ラナケレバナラヌ、ソレデ強制執行ノ目的ニ於テ致シマスル強制管理ニシマシテモ、主務官廳ガ監督シテ行クト云フコトガ最便利デアリ又必要デアルト云フ考カラ、此事ハ主務官廳ノ職權ニ屬セシメマシタ、從ッテ管理入ヲ選任イタシマスルノモ主務官廳ノ職權ト致シマシタ、ソレデ競賣ノ場合ニ付テ先刻一言申漏ラシマシタガ、競賣ノ結果、競賣代金ト云フモノハドウナルカト申セバ、言フマデモナク第一ニ今ノ手續ノ費用ヲ引カナケレバナリマセヌガ、次ニハ租稅

公課ノ費用ヲ此中カラ引去リマシテ次ニ抵當權者ニ對シマシテ抵當權ノ順次ニ隨テ返濟ヲ致シマス、ソレハ尙餘裕ガアリマスレバ固ヨリ之ニ對シマシテ他ノ權利者ガアレバ其權利ヲ行フコトガ出來ルノデアリマス、其他罰則ノ規定モゴザイマスガ、是ハ別段大體ニ付テ申上ケルコトハゴザイマセヌ、先ツ大要申上ケルト云フト唯今述ベマシタノガ、此鐵道抵當法ノ主意デゴザイマス、尙御尋ガゴザイマスレバ申上ゲマス

○藤田四郎君 是ハドコカラ尋ネマシテモ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 初ノ中ハ一般ニ付テドコデモ宜シ

○藤田四郎君 此五十三條ニ「七八以上合同スルコトヲ要ス」トアリマスガ、是ハ先刻チヨット御説明デ私設鐵道條例ニ依テ株式會社デナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ルト云フ御話ガゴザイマシタガ、シテ見レバ此場合ニ假ニ外國人ナラ外國人ガ金ヲ貸シテアツテ競落シテ自分デ引受ケルト云フ場合ニモ矢張り株式會社デナケレバナラヌ、合名合資デハ許サヌノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 左様デス、許シマセヌ

○藤田四郎君 ソレカラ先刻抵當ノ登記ノ場合ニ就キマシテ、第三者ノ分ニ對シテモ特別ノ法ヲ設ケテアルト云フコトデアリマシタガ、ソレハ何條デアリマスガ、登録ノ前ニ御話ガアリマシタガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) チヨットモウ一應伺ヒタイ

○藤田四郎君 能ク聞損ヒマシタガ、第一章ノ最後ニ御説明ガアリマシタ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 動産ノコトデゴザイマスガ

○藤田四郎君 ドコニアリマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ十三條十四條デゴザイマス

○藤田四郎君 此第三十二條ノ第三號ノ「不動産ニ關スル權利ノ登記アル土地又ハ建物ノ登記簿ノ謄本」ト云フノデゴザイマスガ、是ハ隨分一々取りマスノハ非常ナ煩雜ナモノデハゴザイマセヌカ、何カ他ニ工夫ハ無イモノデゴザイマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 實ハ其點ニ就キマシテハ隨分攷究ヲ積ミマシタノデアリマス、併シ是デケノモノハドウシテモ必要デアラウト考ヘマス、併ナガラ此手續ヲ簡便ニ致スニ就キマシテハ、本案ノ規定ハ此通りニ致シマシテ、別ニ其方法ガアラウト考ヘテ居リマス、詰リ今日ニ於キマシテ最モ唯今御尋ノ點ガ面倒デアルト云フノハ、鐵道ノ敷地ガ非常ニ細カク割レテ居リマシテ、筆數ガ非常ニ多イト云フガ一番大ナル障害デアラウト思ヒマス、其筆數ヲ減ズルト云フコトハ會社ノ爲ニモ便利デアリシ、又登記所ノ方デモ便利デアラウト思ヒマス、其手數ヲ減ズルト云フコトニ就キマシテ簡單ナ方法ヲ設ケルト云フコトニ就キマシテハ、實ハ唯今研究シテ居リマスルノデ、略見込モ付イテ居リマス、其方デ手數ヲ省ケルトハ十分ニ途ヲ付ケル考デ居リマス

○男爵前島密君 財團ヲ設ケムトスルトキニハ登記ト登録ト斯ウ兩方アルヤウニ見エマ

スガ、手續ハドウ云フ順序ニナリマスノデゴザイマセウカ、御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 豫定登記ハ財團ヲ設ケマスル前ノ手續デゴザイマス、

前ノ手續トシテ豫定登記ヲ致シテ置キマシテ、ソレカラソレガ財團ノ設定ガ認可セラレマ

スルト云フト、主務官廳カラシテ登記所ニ之ヲ通知イタシマス、サウスルト登記所ハ先刻

申上ゲマシタ通り豫定登記後ニ爲シマシタ所ノ登記ヲ消シマシテ、サウシテ詰リ不動産ノ登記簿ハ其間ハ休ンデ居リ譯ニナリマス

○男爵前島密君 此第七條ニゴザイマスルノハ、唯不動産ニ關スル權利ニ付テ豫定登記ヲ受ケルデケデゴザイマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス、ト申シマスルノハ不動産ニ關スル權利ト書キマシタノハ此中ニハ所有權モゴザイマスシ、又第三條ノ四號ニゴザイマスル通り、色々地上權トカ其他ノ權利モゴザイマス、ソレヲ併セテ規定スル爲ニ不動産ニ關スル權利ト致シマシタ

○男爵前島密君 財團設定ノ登録ヲ受ケマスレバ則チ財團ヲ設定サレタノデアリマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス

○男爵前島密君 其財團ヲ設ケルニ付テ、不動産ニ付テノ權利云々ト云フコトヲ豫定登記ヲ先ニ致シマスノデアリマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス、豫定登記ヲ致シテ申請中ニ色々權利ガ出テ參ラスヤウニシテ置カケレバナリマセヌ

○藤田四郎君 司法省ノ御方モ御居デデゴザイマスガ、チヨット御尋ヲシマスガ、此登記所デ登記ヲ爲シマスノハ順番ニ依テ登記ヲセラルルヤウデゴザイマスガ、地方ニ依リマシテハ隨分、一月二月三月月登記ヲ持出シテカラ掛ルヤウニ思ヒマスガ、數筆ノモノニ就キマシテハ此法律ニ依リマシテ登記ヲシマス謄本ヲ得マスル時分ニ就キマシテハ、是ハ容易ニ出來ルコトニナリマスモノデセウカ、矢張り順ニナリマスヤウニナルモノデゴザイマスガ、固マデ居リマスモノト宜ウゴザイマスガ、是ハ筆數割イテ鐵道會社ニ賣ツタ筆數デゴザイマスガ、登記ヲスルノニ不便デ無イカト思ヒマスガ、ドンナモノデゴザイマスガ

○政府委員(齊藤十一郎君) 成ルホド筆數ノ多クアリマスル點ハ不便デアリマス、成

ルベクハ人員ガ足りマセヌケレバ人員モ殖シマシテ出來ルデケノ便宜ヲ與ヘマシテ、速ニ登記ノ完了ヲ圖ルコトニ致ス見込デアリマス、受附順ニ依ルカドウカト云フ御尋ニ付キマシ

テハ、是ハ法律ノ規定デゴザイマスガ、矢張り受附ノ順ニ依ラナケレバナラヌコトニ相成リマス

○男爵前島密君 唯今質問ノゴザイマシタ其登記ノコトニ付テハ、是ハ實地ヲ心配イ

タシマスルト頗ル杞憂ニ堪ヘナイ、其時ニハ人ヲ臨時ニ増スナドト云フコトモ或ハ覺束ナ

イコトデアリマセウケレドモ、如何ニモ此手數ヲ成ルデケ省イテ簡便ニ行クコトヲ希

望イタシマスルガ、唯今一木君ノ御話ニ此事ニ付テハ別段ニ法案ヲ描クデアラウト云フコ

トデゴザイマシタガ、大凡ドンナコトデゴザイマスルカ、御漏シテ願フコトハ出來マスマイカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今取調ベテ居リマスルノハ、登録ヲスルニ付キマシテ

ハ稅務署ノ方ニ願フコトニナッテ居リマス、其登記ヲ致スノハ更ニ登記所ノ方ニ申請シナ

ケレバナラヌ、詰リ當事者ガ二重ナ手續ヲ經ナケレバナラヌコトニナッテ居リマスガ、其登記

ノ手續ヲ略シマシテ或ハ稅務署ノ方カラ直チニ登記所ニ通知ヲ致シ、登記所ハソレニ依

テ登記ヲ致スト云フヤウナ手續ハ出來得ナイデアラウカ、ソレニ就キマシテモ登記所ノ事

務ガ運ビマセヌデハ、矢張り登記ガ遅レルヤウナコトニナリマスガ、其點ニ就テハ唯今齋藤

政府委員カラモ御答ヲ申上ゲタヤウニ、人ノ數ヲモ殖シ、勿論人ノ數ヲ殖スニ就キマシテハ平生是ガ必ズアルト云フコトデモアリマセヌカラ、或ハ豫備ノヤウナ工合ニシテ其必要ニ應ジテ配付スルカ、ソレ等ハ相當ナ手續ヲ司法省テ執ラウト思ヒマスカラ、サウ云フヤウニ致シテ、登記ハ敏活ニ運ブヤウニ致シテ、ソレカラ申請者ノ方ハ今申シテ通り二重ノ手數ノ掛ラヌヤウニ致ス、サウ致シマスルト筆ノ數ガ餘ホド大キナル、ドレホド大キクナリマスカハ今日デハマダハキリハ致シマセヌガ、假ニ一町村ナリ其他一區域内ガ一筆ニナルト云フコトニナリマセバ、筆數ハ比較的ニ僅少ニナル、其上デ此手續ヲスルト云フコトハヤサシイコトと思フ、尙此合筆ノ手續ヤ何カニ付キマシテハ早クカラ著手ガ出來ルコトデアリマスガ、負債ヲ起シマスル相談ニモ相當ニ時ガ掛ラコトデアリマスカラ、早クカラ著手イタシマスレバソレガ爲ニ負債ヲ起ス時機ヲ失フト云フコトハ無カラウト考ヘテ居リマス、是ハ尙申上ゲテ置キマスルガ、マダ確定シタノデハゴザイマセヌ、唯サウ云フ方針デ今調ベテ居リマス

○男爵前島密君 合筆イタス時分ニハ稅務署ノ方ニ申請イタシテ稅務署ノ方デ合筆ヲ許シマシタコトヲ直チニ登記所ノ方ニ通知イタシマスヤウニナリマス

○政府委員(一木喜徳郎君) マアサウ云フ手續ノ外ハアルマイカト思フテ居リマス、併シ其點ニ就テハ確ト申上ゲ兼セマス

○藤田四郎君 丁度今前島男爵カラ御尋ノアツタ問題デゴザイマスガ、今ノ政府委員ノ御説明ハ固ヨリ極ツタト云フ譯デハゴザイマスマイカ知リマセヌガ、矢張りソレダケノ手順ヲ省クト云フコトニナリマスレバ矢張り此法律ノ中ニ幾ラカ載セナケレバナヌカト思ヒマスガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス、或ハ此法律ノ附則ト云フコトニシテ載セマスカ、或ハ單行ノモノヲ出スガ宜カラウカ、何レニシテモ法律ヲ多少變ヘナケレバナラス

○藤田四郎君 如何ノモノデゴザイマスガ、チヨット同フノデゴザイマスガ、隨分煩雜ナコトデアリマスシテ、賑カナ街ヲ往來シテ居リマス鐵道ナドハ實ニ筆數ガ多イダラウト思ヒマスノデ、何カ唯今ノ法律デモ宜シイカ知レマセヌガ、司法省ノ御方ノ御調ニ依リマシテ登記ノ方法カラ除外シテ仕舞フト云イ途ガ出來ヌモノデアリマセウカ、即チ其鐵道線路ニ關係シマスル、鐵道線路ニ屬スル土地ダケノ登記ノ方法ハ即チ個々トシテ之ヲ抵當ニ入レルコトハ禁ジテ、サウシテ普通ノ登記ノ方カラ除外シテ即チ逡信省ナラ逡信省ノ登記ノ方デ濟マス途ニ依ルカ、又ハ從前ノ分ニ就キマシテハ或ハ公告デモシテ、サウシテソレニ對シテ權利ノ有ルモノガ申出サル、途ヲ開イテ、將來ニ於テハ鐵道ノ線路ハ之ヲ個々トシテ財團デナク抵當ニ入レルト云フコトハ禁ズル方法ヲ採ル途ハ出來ヌモノデアリマセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 大體ニ就テ私カラ御答イタシマスルガ、實ハサウ云フコトモ致究ヲ致シテ見タノデアリマス、第一二個々ノモノヲ抵當權ノ目的ニスルコトハ出來ヌト云フコトハ或ハ出來ルカモ知レヌガ、個々ノモノニ對スル權利ハ單リ此抵當權ノミデナイ、差押トカ何トカ云フヤウナ會社ノ任意デ出來ルモノデ無シニ他動ノ出來ルモノガアル、サウ云フモノデモ一切平常ニ於テ抵當權モ何モ無イノニ平常ニ於テ禁ジテ仕舞フ

コトハドウダラウ、若シソレヲ禁ジヤウトスルナラバ財團ニ就テ其權利ヲ行ハナケレバ不當ナモノニナル、サウスルト平常カラ財團ヲ設定シテ於キマシテ財團ノ總體ニ對シテ其權利ヲ行フト云フ仕組ヲ採リマセヌト餘ホド不條理ナコトニナラウト思フ、即チサウ云フ風ニ致シマスルト更ニ平常ニ於テ財團ヲ設ケルト云フコトニナラズ抵當權ヲ設定シタ場合ニ、抵當權以外ノ色々ノ權利ガソレニ附イテ來ルコトニナル、極ク僅カナ小サナ權利ノ爲ニ全體ノ鐵道ノ鐵道財團ヲ處分シナケレバナラヌコトガ出テ來ルト思フ、其點モ隨分困難デアリマス、又之ヲ登記ノ外ニ置クト云フコトモ隨分ムツカシイコトデアラウト考ヘマス、ト申シマスルノハ是マデノ分ニ對シテハ唯今ノ御説ニ依リマス、公告デモシテ、催告デモシテ申出サセルコトニシタラドウカト云フ、是モ一ツノ方法デアラウト思ヒマス、併シ其公告ヲスルニハ正確ヲ期シマスルノハ一筆一筆ニ公告スルト云フコトハ無カラウト思フ、概括シテ公告シテ見タ所ガ自分ノ持ッテ居ル權利ガソレニ關係シテ居ルノヤラ或ハ自分ノ土地ハ關係ガ無イノヤラ、其權利者ニ取ッテハ分ラヌ譯デアル、若シ其方法ヲ取リマスルナラバ餘ホド正確ニ一筆一筆ニ公告ヲシテ置カナケレバナラヌコトデアラウト思フ、一筆一筆ニ何町何段ト云フコトヲ書カナケレバ前ト同ジコトニナル、縱シ細カク公告イタシテ見タ所ガ唯一片ノ公告デ、公衆ハ必ズ官報ヲ見ナケレバナラヌト云フヤウナ義務ガアルト致シテモ宜シイガ、兎ニ角自分ノ土地ガソレニ關係シテ居ルノヤ否ヤト云フヤウナコトハ公衆ニハ中々分リ惡イダラウト思フ、詰リ公衆ハ土地建物ニ就テハ登記簿ト云フモノヲ一途ニ信用シテ之ヲ自分ノ權利ノ根據ト致シテ居リマス、ソコニ持ッテ行ッテ今ノ公告ト云フヤウナ簡便ノ方法ヲ用井ルト云フヤウナコトニナリマスルト、ドウモ不條理デアラウト思フ、若シソレデ充分目的ヲ達セラル、ナラバ元來土地ノ登記ト云フヤウナコトハ必要ガナイト云フヤウナ結論ニモ極論スレバナラウカト思ヒマス、サウ云フ色々ノ點カラ考ヘデ見マスルト、ドウモ唯今御話ノヤウナ簡便法デハ折角土地登記法ト云フモノヲ設ケラレマスル所ノ趣旨ヲ沒却シテ公衆ハ極メテ不安心ナ地位ニ立ツヤウニナリハセヌカト云フコトヲ氣遣フ、其點モ致究シテ見マシタ、又一應御尤ナ御説トモ思ヒマスガ、何分研究ノ結果、ドウモ其方法デハ抵當權ト其外ノ權利ノ調和ヲ謀ル途ガ十分達セラレヌト思ヒマスノデ、已ムヲ得ズ此案ノ如クニ規定イタシタ次第デアリマス

○藤田四郎君 敢テ理窟ヲ申スノデハゴザイマセヌノデスガ、私ドモ心得テ居リマス所デゴザイマス、差押ト云フヤウナ場合ノ如キハ是ハ最モ煩雜ナ分ハ鐵道線路敷地ノ市デゴザイマスカラ差押ノ普通アリマスヤウナモノハ斯ウ云フ線路ナドニ行フト云フコトハ今日普通ノ場合ニハアリマスマイカト思ヒマスノデ、其他ノ動産ナリ機關車トカ便利ナモノノ差押ノ途ガアルモノデアリマスカラ、實際ニ於テソレ等ハ差押ヘナイカト思ヒマス、次ニ今ノ公告シタリドウトカ云フ御話デゴザイマスガ、畢竟此目的ト云フモノハ即チ社債ヲ作ル方法ニ就テノ簡便ナ途ヲ與ヘルト云フノガ御趣意デアラウト思フノデアリマスカラ、成ルベク容易ニソレガ出來得ラル、工夫ヲシタイ、斯ウ云フ考ニ過ギナイノデ、大抵鐵道會社ニ對シテ債權ヲ持ッ者ハ官報ナリ又自分ノ利害ノアルモノデアリマスカラ公告ヲシマスル以上ハソレ位ノ注意ヲスルト云フコトハ充分アルモノト思ヒマス、別段ソレガ爲ニ第二者ナリ其權利者ガ困難ヲスルコトガアリマスマイカト思ヒマス、公告セラレ、コトデアリマスカラ無論能ク注意シテ皆人ガ見ヤウト思ヒマス、若シモ他ニ唯今御説明ダケノ御

主意アルコトナラ此登録ノ方法ヲ變ヘルコトニセラレシタ方ガ餘ボド登記ノ上ニ於テ
外資ヲ入レマスニ付テモ便利デアラウト思ヒマス、外資ヲ入レルト致シマシタ所ガ、數年
ニ跨リテ之ヲヤルト云フコトハ經濟社會ノ事情モ變テ來ルコトデゴザイマスルカラ、ヤリ掛
ケテ見ルト云フ時ニ最早其時期ハ過去テ仕舞フト云フコトガ起リテ折角ノ目的ガ達セ
ラレナイコトガ起リハシナイカト云フコトヲ懸念スルデアリマス、折角ニ是デケモノヲ作ル
ノデアリマスカラ、若シ唯今政府委員ノ御説明デケノ御主意アルナラバ、イッソ數箇條
ヲ御設ケナサレドッチカニシタイ、ソレハ多少御修正ナリ又ハ附則ニ御書加ヘニナルト云
フコトデアレバ、登記ノ方ヲモウ少シ簡便ナ工夫ヲセラル、途ヲ執ラル、コトガ出來レバ此
法律ノ目的ヲ充分ニ達セラル、ト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 御主意ハ政府委員モ誠ニ御尤ニ思ヒマス、ソレデ其
方法ヲ講ズルコトハ隨分努メマス積リテゴザイマス、前申シマス通りアレデケノ理由ガト云
フコトデゴザイマスガ、併シアレデケノ理由ハ隨分重イ理由デアルト思ヒマス、チヨット伺
ヒマスガ、其公告スルニ付キマシテハハマダ委シク御攷究ナスツタ譯デアゴザイマスマイガ、地
盤カラ反別カラ字、總アスッカリ詳細ニ公告ナサルト云フヤウナ御見込デゴザイマス

○藤田四郎君 是ハ極ク容易ナコトト思ヒマスノデ、登記所ニ就キマシテ今ノ謄本ヲ得
マシタリ色ミスルニ付テハ、ナカノ容易デゴザイマスガ、片一方ニアリマス鐵道會社ニ
シマシテモ此目錄ニアリマス即チ財産、線路ノ道敷ノ字トカ番號、筆口ト云フモノヲ書
キマシテ一筆ニズツト斯ウ載セマシテ之ヲ官報ナリ又其關係ノ地方ノ新聞ニ載セマスト云
フコトハ是ハ極ク見易イコトデゴザイマス、此頃デモ能ク官報ニ載テ居リマスガ、山林ノ
賣拂ヒナドト云フモノニ付キマシテハ矢張り日々見エマスガ、三枚カ四枚、隨分澤山載ッ
テ居リマス、載ッテ居リマスガ、是ハ何千筆、何萬筆デ載ッテ居リマスガ、是モサウムヅカ
シイコトデナイヤウニ思ヒマス、是ハ是デケラ寫シサヘスレバ宜シイデアリマスガ、片一方
ノ登記所ニ出マシテ原簿ノ謄本ヲ取ルト云フ順序トハ餘程違フコトデアリマスカラ、私ノ
考ヘマス所デハ極ク手輕ニ出來ルコト、思ヒマス

○都筑馨六君 チヨット伺ヒマスガ、川ノ敷地ノ登記トカ、新イ道路ノ敷地ノ登記ナド
ハ矢張り一筆一筆デ行ッテ居リマスガ、例ヘバ川ヲ新ニ造リマスニ一私人ノ地面ヲ買立
テテ川ノ新航路ヲ造ルトカ云フモノハ一筆一筆ニ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 私ノ承知シテ居リマス所デハ一筆一筆ニナッテ居リマス
○都筑馨六君 私ノ記憶シテ居リマス所デハ臺帳ト云フモノヲ造ラセテ、其臺帳ニ
新效力ヲ與ヘテサウシテ登記ノ方ハ自然消滅スルカヤウニ考ヘテ居リマスガ、實際ノ扱
ヒ方ハドウナッテ居リマスガ、古市君ニ伺ヒタウゴザイマスガ、實際臺帳ト云フモノニ造リ
上ゲタ川ガ餘計アリマス

○古市公威君 マダ少イ
○都筑馨六君 少イケレドモ有ルコトハアル
○古市公威君 有ルコトハアルガ、登記ノ手續ハドウナッテ居ルカ分ラヌ

○政府委員(一木喜徳郎君) 河川ハ少シ違ヒハシマセヌカ、私權ノ目的タルコトヲ得
ズデ、河川ノ區域ハ行政廳デ認定シマスレバ河川ノ方ハ違ヒハシナイカト思ヒマス

○都筑馨六君 サリナガラ認定ガ誤ッテ一私人ノ區域ニ這入ッ時ハ同ジコトデアルト

思ヒマス、今藤田君ノ問ハル、所ニ議論ガ來ハセヌカト思ヒマス、一私人ノ地面ヘ誤ッテ
這入ッタト云フ時ニ……

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ現行法デハ主務官廳ガ權力デ認定シマシテ、其
其認定ハ誤ッテ居リマスモ假令私權ガソレガ爲ニ害セラル、コトニナッテモ、ソレニ對シテハ
制裁ノ途ガ無イ、サウ云フ譯デアアルカラアレハ行ケヤウガ、ソレガ果シテ正當ナ處置デア
ルヤ否ハ問題デアリマスガ、河川ノ方ハ公共ノモノトシテ宜シウゴザイマスガ、其主義ヲ私
設鐵道ニマデ及ボスト云フコトハドウモ行キ兼ネラウト思ヒマス

○都筑馨六君 私ハ私權ノ目的デナイト云フ主義マデモ應用スル必要ハ無イト思ヒマ
ス、別ニ是ハ天下ノ公道タルコトヲ失ハヌ、必シモ川ノ如キ私人ノ目的デナイト思ッテモ
……是ハ遞信大臣ニ伺ヒマスガ、私設鐵道會社ト云フモノハ土地線路ニ對シテハ概シ
テ臺帳ト云フモノヲ精密ニ持ッテ居ルモノデアルヤ否ヤ、若シサウ云フモノガ拵ヘテアルナ
ラバソレヲ基礎ニ登記ノ方法ヲ攷究ハ出來ナイモノデアルヤ否ヤ、此ニ點ヲ伺ヒタウゴザ
イマス

○國務大臣(大浦兼武君) 是ハドウモ完全ナモノハ無イト思ヒマス、ソコデ甚ダ困ッ
テ居リマス所モアリマセウガ、マア多クナイ、ソレデドウシテモ登記ヲスルノニ甚ダ困難ヲシテ
居リマス

○都筑馨六君 此道路ノ方ハドウナッテ居リマスガ、例ヘバノ電車鐵道ガ新ニ敷地ニ
組込シタ地面、アレハ道路式ト云フ名稱ニナッテ居ルヤウデスガ、アンナモノハ一筆附
込ムノデスカ、總テ前持ッテ居ル者ノ筆數デ行クノデスカ、新イ線路デ例ヘバ大森
ヘ殆ド並行スル線路ハ、總テアレハ前ノ所有者ノ筆數ニ應ジタモノデ附込ムカ、或ハ一
筆デ附込ムノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 合筆ヲシマセヌケレバ矢張り元ノ筆數ニシマス

○都筑馨六君 合筆スル工夫ハ付テ居リマス

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ合筆ハ出來マス、合筆ノ方デ行ッたら宜カラウト
私ハ思フデアリマス

○藤田四郎君 其合筆ガナカノムヅカシイノデ……

○都筑馨六君 是ハドウモ御實験ノアル委員長若クハ古市君ニ伺ヒマスガ、一體鐵道
ノ敷地ト云フモノハ多クハ個々別々ニ物上權ノ存シテ居ル地面ガ能クアルノデスカ

○古市公威君 物上權ハ有ルマイト思ヒマス

(速記中止)

○藤田四郎君 此法律ハ甚ダ必要ナ法律ト思ヒマスノデ、マダ論ヲスル場合デアゴザイ
マセヌケレドモ唯今期日モ迫ッテ居ルコトデアリマス、所デ政府委員ノ説明デアリマスト餘
ホド私共ノ希望スル所ハムヅカシイヤウニモ見エマスガ、我々ノ希望モ略々了解サレタヤウ
デアリマスカラ今度御開キニナリマスマデニ我々ノ希望、我々ト申シテハ恐入リマスガ、私
ガ申シマシタ主意デ案ヲ拵ヘテ參考ニ出シテ戴クコトハ出來マスマイカ、詰リ大體ハ宜イ
ノデアリマスガ、目的ヲ達スルニハモウ少シ便利ニナッたガ宜クハナイカト思ヒマス、其案ハ
ドウシテモ出來ヌト云フコトデアレバ仕方ガナイガ、マダ出來ル餘地ガアルヤウデスカラ一ツ
御調ベヲ願ヒタイ

○政府委員(一木喜徳郎君) 御引受ハ出來カネマスガ、兎ニ角調ベテ見マセウ、固ヨリ名案ガアレバ原案ヲ固執スル譯デハアリマセヌカラ……

○委員長(子爵曾我祐準君) 私モ政府委員ニ申シテ置キマスガ、一木君ノ説明モアリ前島サンカラ御尋モアッタ今ノ分筆ノ事ニ付テ何カ御考案ガアルヤウナラ次ノ會マデニ大概御認メニナッタ所ヲ御提出下スッタラ進行ガ宜カラウト思ヒマスカラ、其事ヲ希望シテ置キマス、尙明後日ハ本會ガアリマスレバ本會ノ後ニ開クコトニ致シマス、若シモゴザイマセバ明後日ノ午後二時ニ開キマス、今日ハ是ニテ散會シマス

午後零時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵曾我 祐準君

委員

子爵大宮 以季君

子爵鳥居

忠文君

子爵三島彌太郎君

男爵前島 密君

男爵平田

東助君

男爵川口 武定君

古市 公威君

藤田

四郎君

都筑 馨六君

小幡篤次郎君

國務大臣

遞信大臣 大浦 兼武君

政府委員

法制局長官 一木喜徳郎君

法制局參事官 吉村源太郎君

司法省民刑局長 河村讓三郎君

司法省參事官 齋藤十一郎君

遞信次官 田 健治郎君

遞信省鐵道局長 山之内 一次君